

第59回 JAIPAの集いin鳥取 実施報告書





一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会は、1999年12月に設立され、以降現在に至るまで、日本のインターネットの発展と共に歩みを進めてまいりました。

インターネットプロバイダーは、全国各地での社会生活、経済活動を支えるインターネット接続を担う事業者としてお客さまに寄り添い、課題の解決に取り組んでいます。また近年ではブロードバンドでの通信の高速化、データの大容量化に伴い、クラウド事業者としてICT基盤の提供を通じ、社会の発展に寄与しております。

今後固定やモバイルにおける通信の更なる進展に加え、世界的な環境変化に伴う企業のDX、SDGsへの取り組み、およびAIやIoTを活用した新たな事業機会等の創出におけるインターネットの役割はますます高まっております。

このような中でインターネットが引き続き公共のインフラとしてあり続けるために、お客さまが安心・安全に利用でき、また各事業者が公平な競争環境のもとで活動して行けるよう、業界として課題の解決に取り組んで行く事が求められております。

当協会では全国各地150社を超える加盟企業と緊密に連携しながら、タイムリーに情報収集・発信を行い、インターネットの健全な発展、日本全国に於けるICT産業の活性化に貢献して参りたいと考えております。

関係各位のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。

一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会
会長 久保 真

項目	開催概要
イベント名称	第59回JAIPAの集いin鳥取
WEBサイト	https://www.jaipa.or.jp/topics/2025/04/59jaipain.php
開催日時	2025年5月29日（木）・30日（金）
開催形式	現地開催（事前申込制・参加費無料）
開催会場	とりぎん文化会館 小ホール 〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5 TEL: 0857-21-8700（代表）
主催	一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会
協力	有限会社ウイル（ハルインターネット）
協賛	テルストラ・ジャパン株式会社／一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会（JUSA）／BBIX株式会社／レンジャーシステムズ株式会社／GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社／株式会社Jストリーム／株式会社ファミリーネット・ジャパン
後援	鳥取県／鳥取市／中国総合通信局／鳥取県サイバーセキュリティ対策ネットワーク／鳥取県インターネットプロバイダ防犯連絡会
来場者数	170名 内訳： 29日（木）セミナー 154名、懇親会 141名 30日（金）セミナー 157名、懇親会 81名

とりぎん文化会館 小ホール（収容人数：500名）



5月29日（木）

- 12:30-13:00 受付開始
- 13:00-13:05 開会挨拶
- 13:05-13:15 来賓挨拶（鳥取市 企画推進部 部長 河口正博氏）
- 13:15-13:20 -
- 13:20-14:00 「鳥取県が取り組む健全なインターネット空間の実現に向けたチャレンジ」
鳥取県 デジタル局長 下田耕作氏
- 14:00-14:05 -
- 14:05-14:35 「地域の小規模事業者のデジタル化と個人の生産性の向上について」
協同組合デジタルエクスペリエンスインテリジェンス（DXI）
会長 井上法雄氏（鳥取県経済同友会 デジタル化委員会委員長）
- 14:35-14:40 -
- 14:40-15:20 「砂像の世界、砂像の可能性」
鳥取砂丘砂の美術館 総合プロデューサー 茶園勝彦氏
- 15:20-15:40 休憩&準備 / (スナバ珈琲提供：FNJ)
- 15:40-16:00 スポンサーセッション
テルストラ・ジャパン株式会社
一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会（JUSA）
BBIX株式会社
レンジャーシステムズ株式会社
- 16:00-16:10 CloudConference2025開催告知
- 16:10-16:25 休憩&準備
- 16:25-16:30 スポンサーセッション
GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社
- 16:30-17:30 「地域ISPとコンテンツ配信」
株式会社AbemaTV CTO 山中勇成氏
株式会社Jストリーム 高見澤信弘氏
- 17:25-17:30 業務連絡
- 19:00- 懇親会 ホテルニューオオタニ 鳥取

5月30日（金）

- 09:30-10:00 受付開始
- 10:00-10:10 新規入会会社紹介
株式会社秋田ケーブルテレビ
株式会社オプテージ
特定非営利活動法人ゆうとぴあネット
- 10:15-10:20 -
- 10:20-11:00 「生成AIによるNetwork Automation」
株式会社NTTフィールドテクノ 佐藤 亮介氏、白井 嵩士氏、田口 順史氏
- 11:00-11:05 -
- 11:05-11:45 「地上テレビジョン放送のブロードバンド等代替に関する検討状況について」
総務省 情報流通行政局 放送政策課 外資規制審査官 細野慶介氏
- 11:45-13:00 昼食休憩 休憩/コーヒーTime (FNJ)
- 13:00-13:30 「中四国地域のNOG(3SNOG)について」
株式会社エネコム ソリューションサービス部 副長 西田貴之氏
- 13:30-13:35 -
- 13:35-14:15 「ソニーの通信での新たな挑戦」
ソニーワイヤレスコミュニケーションズ株式会社
代表取締役社長 大津康治氏
- 14:15-14:30 休憩
- 14:30-15:10 「コネクティッドカーを20年利用してもらうための課題」
トヨタ自動車株式会社 InfoTech情報通信先行開発室 主幹 竹岡航司氏
- 15:10-15:15 -
- 15:15-15:55 「遠隔型自動運転による地域内移動サービスの取り組みについて」
東急バス株式会社 課長 長束晃一氏
- 15:55-16:10 -
- 16:10-17:10 「田中邦裕のIT戦略2025（JAIPAの集い特別編）」
さくらインターネット株式会社 代表取締役社長 田中邦裕氏
株式会社オプテージ 福智道一氏
- 17:10-17:20 閉会挨拶
- 18:00-20:00 懇親会 村上水産

プログラム概要	
13:15-14:00	「鳥取県が取り組む健全なインターネット空間の実現に向けたチャレンジ」
<p>SNSやAI技術の普及は、人々や社会の便利さ豊かさを提供する一方で社会的な歪みも生んでいます。SNSが大きな影響力を持つようになった今、インターネット空間では人々の不安が高まる大規模災害や関心の高まる選挙等で偽・誤情報や真偽不明情報が拡大、さらに顔の見えないデジタル空間の中で誹謗中傷が繰り返され大きな社会問題となっています。</p> <p>また、AI技術については、行政も有効活用を進めていますが、過度にAIに依存し、心理面を含め人間がAIに支配され、県民の信頼を失うようなことがあってはなりません。</p> <p>民主主義や地方自治の根底を揺るがしかねないこれらの課題に対し、地方自治体としてどう向き合うべきか。鳥取県が取り組む全国に例のないチャレンジについてお話しします。</p>	

プログラム概要	
14:05-14:35	「地域の小規模事業者のデジタル化と個人の生産性の向上について」
<p>日本の社会環境の変化（少子高齢化）により顕著になってきた人口の減少それによる人材不足また、地方では人材の都市部への流出。地域企業が今後生き残り地域を存続させていくためには、やはり、生産性の向上が必須であるということ</p> <p>で、IT技術や新しいITクラウド商材を活用し、その人材不足を補い、マーケティングの部分ではより自社の付加価値のある商品をどう広めていくか、今の日本の特に地方で起こっている社会環境の変化、それに伴う社会問題をそのデジタル商材でどう穴埋めできるかを考えていくとともに、逆にそこをどうチャンスに変えていくかを考えてみたいと思います。</p>	



下田 耕作 氏

(シモダ コウサク)

鳥取県
デジタル局長

プロフィール
<p>鳥取県 デジタル局 局長</p> <p>2001年に電子県庁推進プロジェクトに参画。以後、電子県庁推進課や行政経営推進課、情報政策課に在籍し、情報システム導入や組織の枠を超えたシステム共同化、情報ネットワーク強靱化、自治体情報セキュリティ対策強化、県庁CSIRT設置などのデジタル環境整備に加え、AIやRPAなどを活用した県庁業務改革（県庁DX）や地域課題解決に向けた地域DXなど様々なデジタル施策に従事。県庁デジタルイノベーション戦略室長、次世代戦略室長、デジタル改革推進課長を歴任し、2023年7月より現職。</p> <p>その他、鳥取県IT統括監、鳥取県情報セキュリティ統括管理者、鳥取県教育委員会教育DXアドバイザー、総務省地方公共団体向けDX関係アドバイザー、鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会理事に就任中。</p>



井上 法雄 氏

(イノウエ ノリオ)

協同組合デジタルエクスペリエンス
インテリジェンス (DXI)
会長

プロフィール
<p>鳥取県東部中小企業青年中央会第32代会長（平成18年度）</p> <p>2009鳥取・因幡の祭典実行委員会副委員長（鳥取市砂像フェスティバルPJリーダー）</p> <p>鳥取いなばライオンズクラブ第45代会長（平成24年度）</p> <p>鳥取県情報産業協会副会長（退会）</p> <p><主な現役職>（2025年度現職）：</p> <p>経済団体：</p> <p>鳥取県経済同友会 副代表幹事 デジタル化特別委員会委員長</p> <p>鳥取商工会議所一号議員</p> <p>チーム鳥取・インド輸出元会特別顧問</p> <p>協同組合デジタル・エクスペリエンス・インテリジェンス (dXI) 代表理事</p> <p>教育：</p> <p>鳥取県産業教育振興会理事、鳥取県産業教育振興会東部会長、鳥取ユネスコ協会会長</p> <p>鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員、鳥取県薬物乱用防止指導員</p> <p>日本ユネスコ国内委員会科学部門委員</p> <p>会社：有限会社ウイル；インターネットサービスプロバイダHAL 代表取締役社長</p>

プログラム概要

14:40-15:20

「砂像の世界、砂像の可能性」

「砂像」とは、砂という身近な自然素材を用いた造形表現です。講演では、鳥取砂丘の砂の美術館を紹介し、砂像の魅力と美術館の取り組みについてお話しします。また、砂像の歴史に触れ、砂像文化とインターネットの普及との関係、そして今後の可能性について話します。

まず、砂の美術館の作品や展示の様子をスライドショーでご紹介します。実際の現場の迫力やスケール感をお届けするには限界があるものの、世界トップクラスの作品のクオリティの高さや展示の雰囲気、その魅力を感じてください。またその裏付けとして美術館の取り組みとコンセプトについて言及します。

次に、砂像文化の歴史についてお話し、その中で砂像文化がインターネットの普及によりどのように変化してきたのかその道のりを自身の経験を交えながら紹介します。さらにインターネットがいかに重要なツールなのかを考察し、今後の可能性について模索していきます。



茶園 勝彦 氏

(チャエン カツヒコ)

鳥取砂丘砂の美術館
総合プロデューサー

プロフィール

鹿児島県南さつま市出身 武蔵野美術大学卒業
1987年 鹿児島県南さつま市「吹上浜砂の祭典」開催を契機に砂像彫刻を始める
1999年 WSSA主催砂像彫刻世界選手権大会で優勝
2006年 鳥取市「鳥取砂丘砂の美術館」にて総合プロデューサーを務める
イタリア・トリノオリンピックコマーシャル砂像制作
2007年 小澤征爾指揮の「東京オペラの森2007」にて上野公園にて砂像制作
2009年 鳥取市「世界砂像フェスティバル」にて総合プロデューサー
「ニュースウィーク日本版」7月号にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出される
2011年 鳥取市・第31回全国豊かな海づくり大会で「天皇皇后両陛下お出迎え砂像」「ウェルカム砂像」制作
2015年『スター・ウォーズ/フォースの覚醒』映画公開記念として、ウォルト・ディズニーデザイン監修の砂像を制作 世界で初めてルーカスフィルムから公認される
その他各種砂像選手権大会に参加し入賞
アメリカ、イタリア、オランダ、オランダ、ドイツ、シンガポール、中国等にて砂像制作に参加 現在は、吹上浜砂の祭典アドバイザー、あしや砂像展プロデューサー、砂の美術館総合プロデューサーも務める



プログラム概要

15:40-16:00

スポンサーセッション

スポンサー

- テルストラ・ジャパン株式会社
- 一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会（JUSA）
- BBIX株式会社
- レンジャーシステムズ株式会社
- GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社



伊藤 悠佑 氏
(イトウ ユウスケ)

テルストラ・ジャパン株式会社
代表取締役社長



近藤 邦昭 氏
(コンドウ クニアキ)

一般社団法人日本ユニファイド
通信事業者協会（JUSA）
会長



生野 勇貴 氏
(イクノ ユウキ)

BBIX株式会社
NW事業本部 事業推進部 部長



成田 翔一 氏
(ナリタ ショウイチ)

レンジャーシステムズ株式会社
代表取締役社長



青山 満 氏
(アオヤマ ミツル)

GMOグローバルサイン・
ホールディングス株式会社
代表取締役社長

プログラム概要	
16:00-16:10	CloudConference2025について

クラコン2025 開催概要

※2025年4月時点での情報となります。開催概要は一部ご変更になる可能性があります。



項目	開催概要
イベント名称	JAIPA Cloud Conference 2025（略称：クラコン2025）
WEBサイト	https://cloudconference.jaipa.or.jp
開催日時	2025年11月6日（木）（半日）
開催形式	オンサイト開催（参加費無料、事前申込制、アーカイブ配信あり）
開催会場	イノベーションセンター netone valley（V-HALL） 〒140-8621 東京都品川区勝島1-5-13 グランロジテラス品川 7F ○東京モノレール「大井競馬場前駅」から徒歩2分 ○京浜急行電鉄本線「立会川駅」から徒歩13分
参加人数（想定）	300名
参加者属性（過去実績）	経営層や管理職クラスの参加者が多いのが特徴
主催	一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 クラウド部会
開催目的	<ul style="list-style-type: none"> クラウド業界および関連ビジネス企業の中長期経営計画に貢献する。 クラウドビジネスのエコシステムに寄与する。

スポンサー様ノベルティ（昨年）



スポンサー交流会（昨年）



ご協賛について ※早期割引は7月3日まで



2025年のスポンサープランについてご案内いたします。

	プラチナスponsor	ゴールドスponsor	シルバースponsor
スポンサーセッション	✓	—	—
参加者情報ご提供	✓	✓	—
イベント内でのPR機会	多い	通常	通常
協賛金 ※1	100万円(税別)	50万円(税別)	10万円(税別)
募集枠 ※2	1社	制限なし	制限なし

※1 早期割引として2025年7月3日までに申込書を送付頂いたスポンサー様は、安定的なイベント運営にご協力を頂いた感謝を込めて、協賛金を10%割引をさせていただきます。
また、JAIPA会員企業様は早期割引期間中のお申込で協賛金を20%割引、期間外は10%割引させていただきます。
※2 各スポンサープランの募集枠は2025年5月時点のものです。イベント企画の都合により、募集枠が増減する可能性があります。

プログラム概要	
16:25-17:25	「地域ISPとコンテンツ配信」
<p>動画コンテンツの配信規模は年々大規模化しており、それに伴って配信品質の担保が難しい場面も出てきていると思います。今回はコンテンツ配信側の目線で、昨今のコンテンツ配信の状況をAbemaTVの山中さんと一緒にざっくばらんに話しできればと思います。</p> <p>またJAIPAとしての視点として、トラフィックの地域分散、地域ISPから見たコンテンツ配信の現状なども会場の皆様と意見交換できればと考えております。</p>	

プロフィール

1994年生まれ。高校在学中にIPA独立行政法人情報処理推進機構 2011年度未踏IT人材発掘・育成事業にて「リアルタイムな生放送検索技術の開発」が採択、未踏スーパークリエイタの認定を受ける。慶應義塾大学 環境情報学部を卒業後、2017年に新卒として入社して以来「ABEMA」にてバックエンド・配信インフラ・スタジオ設備の改修などに携わる。2024年4月に株式会社AbemaTV CTO に就任。

プロフィール

Jストリームに新卒で入社後、ネットワークエンジニアとして自社のデータセンターや対外接続のネットワーク、大規模配信を可能にするCDN（Content Delivery Network）の設計・構築を担当。その後、サイマル放送システムやオンデマンド配信システムの構築、世界的スポーツイベントなどの動画配信システム構築などに携わる。現在はCDNのプログラム企画やネットワークの設計や投資計画などをアーキテクトとして担当。マンガ海賊版サイト対策技術検討チームメンバー。



山中 勇成

高見澤信弘



山中 勇成 氏

(ヤマナカ ユウセイ)

株式会社AbemaTV CTO



高見澤 信弘 氏

(タカミザワ ノブヒロ)

株式会社Jストリーム
プラットフォーム本部
エンジニアリング推進室アーキテクト

プログラム概要

10:00-10:15

新規入会会社紹介

新規入会会社

- 株式会社秋田ケーブルテレビ
- 株式会社オプテージ
- 特定非営利活動法人ゆーとぴあネット



篠田 業 氏

(シノダゴウ)

株式会社秋田ケーブルテレビ
テクニカルクリエイイト本部 リーダー



中井 義久 氏

(ナカイヨシヒサ)

株式会社オプテージ
デーセンタービジネス推進部 部長



惣塚 ここ美 氏

(ソウツカ ココミ)

株式会社オプテージ
デーセンタービジネス推進部



松高 直樹 氏

(マツタカ ナオキ)

特定非営利活動法人ゆーとぴあネット
理事兼事務局長

プログラム概要

10:20-11:00

「生成AIによるNetwork Automation」

我々NTTフィールドテクノ ネットワークサービスオペレーションセンタ（NSOC）では、24時間365日大規模なNW設備の監視・運用保守を行っております。大規模かつ成長し続けるNWを限りある人的リソースで保守するため、自動化を含めた業務の生産性向上に取り組んでいる中で生成AI技術の活用には大きな期待をしており、現在のNetwork Automationをより高度にし監視オペレータの業務を全面的に任せられるレベルにすることを目標とし現場で試行錯誤を重ねています。下記のような技術的なポイントや、難しいNWトラブルを生成AIに切り分けてもらうユースケースのデモを紹介させていただきながら、新たなNetwork運用の未来の一つの理想として「生成AI（LLMエージェント）にオペレータを任せることはできるのか」というテーマについて議論をさせていただけたらと思います。

【対外発表経歴】

JANOG55 「ネットワークオペレーションにおける生成AI技術の活用検討について」

JANOG56 「生成AIによるNetwork Automation ～LLMエージェントはネットワークオペレータになれるのか～」

など



佐藤氏

白井氏

田口氏



佐藤 亮介氏

（サトウ リョウスケ）

株式会社NTTフィールドテクノ 主査

担当業務：

NTT西日本のネットワーク運用保守の自動化に関する技術検討など



白井 嵩士氏

（シライ タカシ）

株式会社NTTフィールドテクノ 主査

担当業務：

NTT西日本のネットワーク運用保守の自動化に関する技術検討など



田口 順士氏

（タグチ ジュンジ）

株式会社NTTフィールドテクノ 主査

担当業務：

他事業者ネットワークの運用保守受諾業務など

プログラム概要	
11:05-11:45	「地上テレビジョン放送のブロードバンド等代替に関する検討状況について」
<p>ブロードバンドインフラの普及やスマートフォン等の端末の多様化等を背景に、デジタル化が社会全体で急速に進展する中、総務省では、放送の将来像や放送制度の在り方について、中長期的な検討を進めています。今回の講演では、地上テレビジョン放送のブロードバンド等代替に関して、「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」（座長：三友仁志・早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）及び同検討会の下に設けられた「小規模中継局等のブロードバンド等による代替に関する作業チーム」（主査：伊東晋・東京理科大学名誉教授）における検討状況、本年の放送法改正等について紹介いたします。</p>	

プログラム概要	
13:00-13:30	「中四国地域のNOG(3SNOG)について」
<p>日本の各地域で地域のNOGが活動をしています。中四国地域のNOG（3SNOG）も昨年より活動を始めました。3SNOGの活動内容や第一回目のミーティング（3SNOG1）の様子、課題や今後の取り組みについて紹介します。</p>	



細野 慶介 氏

（ホソノ ケイスケ）

総務省 情報流通行政局 放送政策課
外資規制審査官

プロフィール
<p>総務省情報流通行政局放送政策課 外資規制審査官</p> <p>総務省入省後、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治行政局国際室課長補佐 ・ 総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課インターネットドメイン利用推進官 ・ 在タイ王国日本国大使館一等書記官 <p>等を経て、2023年より現職。</p>



西田 貴之 氏

（ニシダ タカユキ）

株式会社エネコム
ソリューションサービス部 副長

プロフィール
<p>1975年岡山県生まれ。 通信教育関連の子会社で社内ネットワークの構築、IP電話の構築・運用を担当。 2015年に㈱エネルギー・コミュニケーションズ（現エネコム）に入社。 インターネットバックボーンの調達や対外的な窓口を担当。 2024年より3SNOGの実行委員としても活動中。</p>

プログラム概要	
13:35-14:15	「ソニーの通信での新たな挑戦」
<p>2013年に新たなFTTHサービスとしてNUROを開始してから12年経過しました。私たちは2022年より、新たな通信領域の挑戦としてローカル5G事業を立ち上げ中です。2022年4月にB2C（マンション向け任意）を開始し多くの運用経験を武器に、2023年11月にB2B向けサービスを開始致しました。多くのお客様とパートナー様にご支援頂きながらいくつかの事例を実現できました。今回はこのB2Bの事例の中からいくつかをご紹介します。</p>	

プログラム概要	
14:30-15:10	「コネクティッドカーを20年利用してもらうための課題」
<p>一度販売すると長期利用が求められるクルマと10年で世代が更新されるセルラー規格とのギャップを踏まえ、ユーザー様が20年満足して継続利用できるサービスを提供するための仕組みを説明します。また、20年間のサービス利用にあたり、適正なコスト負担者に課金する方法、他社との競争優位性を維持するために必要な追加コストについても解説します。トヨタ自動車の直面する課題も紹介し、インターネットプロバイダーの皆さんに協力いただきたい点についても質疑応答の時間も設け、参加者の皆さんとの意見交換をしたいと考えています。</p>	



大津 康治 氏
(オオツ コウジ)

ソニーワイヤレスコミュニケーションズ株式会社
代表取締役社長

プロフィール

1991年日本テレコム（株）（現ソフトバンク）へ入社。1996年からISP事業ODNを立ち上げ100万人を超えるお客様に愛される事業にできたことは私の成功体験となりました。2002年ソニー（株）入社VAIOの商品企画に従事。2005年現在のソニーネットワークコミュニケーションズ（株）入社、ISP事業So-netのFTTH販路立ち上げに従事、2012年からNURO事業の立ち上げに従事、2021年ISP事業（So-net）担当執行役員 構造改革実施、2024年ソニーワイヤレスコミュニケーションズ（株）代表取締役社長



竹岡 航司 氏
(タケオカ コウジ)

トヨタ自動車株式会社
InfoTech情報通信先行開発室 主幹

プロフィール

通信業界（特にセルラー）の経験を持つ。1998年に日本テレコムに入社し、通信設備運用や国際技術営業を担当。その後、2006年にエリクソン・ジャパンに移り、コアネットワークコンサルタントとしてネットワーク設計や自動車メーカー向けに海外ITS研究を紹介。2013年にはソフトバンクでIoTの営業企画とプラットフォーム構築に携わり、異業種の要件を統合する実績を積む。2020年からはトヨタ自動車で次世代コネクティッドカー通信基盤の先行開発を担当し、未来のモビリティ技術を検討している。

プログラム概要	
15:15-15:55	「遠隔型自動運転による地域内移動サービスの取り組みについて」
<p>東急バス株式会社では、バス事業における将来的な運転手不足解消や地域内移動サービスの維持発展の手段として、遠隔地から通信手段を用いて自動運転車両のシステムを補助するなど、次世代のサービスの実証実験を進めており、取り組みの内容について紹介する。</p>	

プログラム概要	
16:10-17:10	「田中邦裕のIT戦略2025（JAIPAの集い特別編）」
<p>IT産業は今、かつてない変革期にあります。長期的な停滞を経て、社会や経済が変化の兆しを見せる中、産業構造やビジネスの進め方そのものも大きな見直しを迫られています。地域と都市の非対称、IT企業の役割変化、AI・デジタルインフラをめぐる国際競争と国内課題など、インターネット産業を取り巻く構造的な論点を多角的に掘り下げながら、次の30年を見据えて業界が果たすべき役割をあらためて見つめ直します。</p>	



長束 晃一氏

(ナガツカ コウイチ)

東急バス株式会社
課長

プロフィール
<p>2008年東急電鉄株式会社入社。現業部門を経て本社部門にて鉄道事業の増収施策を担当。プロモーションや、アプリおよび自動改札機とWebシステムを連携させた鉄道版マイレージの企画、開発、運用などを実施。</p> <p>2015年東急テクノシステム出向。航空機のグランドハンドリングシミュレータ、ホームドア関連など新規事業のソリューション営業、開発、施工を担当。</p> <p>2017年東急電鉄に復職。</p> <p>2020年から自動運転事業担当。</p> <p>2024年から東急バス株式会社にて自動運転担当。</p>



田中 邦裕氏 (タナカクニヒロ)

さくらインターネット株式会社
代表取締役社長

プロフィール
<p>1996年、舞鶴高専在学中にさくらインターネットを創業。2005年に27歳で上場し、現在はプライム市場。自らの起業経験を生かし、スタートアップのメンターやエンジェル出資を行うほか、IPA未踏のプロジェクトマネジャーとして若手起業家や学生エンジニアの指導にも携わる。社長業の傍ら、数社の社外取締役を務めるほか、日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）副会長、ソフトウェア協会（SAJ）会長や日本データセンター協会（JDCC）理事長、AI戦略会議構成員、関西経済同友会常任幹事などとして幅広い分野で業界発展にも尽力。</p>



福智 道一氏 (フクチ ミチカズ)

株式会社オプテージ ソリューション事業推進本部
Senior Strategy Officer

プロフィール
<p>1999年10月、ソフトバンク・東京電力・マイクロソフトのJVであるスピードネット発足に参加。2000年2月ソフトバンクネットワークスへ入社し、法人向けISPであるアイ・ピー・レボリューションを立ち上げ取締役技術統括として事業を牽引。その後、ソフトバンクBBのネットワーク運用本部長などを歴任した後、2012年5月よりBBIX株式会社専務取締役兼COOとして日本のみならずアジア、北米、ヨーロッパからインターネット全般を支え、尽力してきました。</p> <p>2025年1月にソフトバンクを退職し株式会社オプテージに転職。現在は大阪を中心に関西のインターネットインフラを勃興させ、日本のみならずアジア全域に貢献すべく奮闘中です。</p>

テルストラ・ジャパン株式会社

テルストラはオーストラリアの伝統を誇り、長年にわたり国際的なビジネスを展開し、成長を続けている大手通信・テクノロジーのリーディングカンパニーです。アジア太平洋地域最大の完全所有海底ケーブルネットワークを構築し、アジア域内で最大の利用容量にアクセスできるユニークで多様なインフラを提供しています。

テルストラとは

TELSTRA Corporation
1901年オーストラリア郵政省の一部として設立
★**アジア最大級**の通信事業者(従業員 28,000人)
★**アジアパシフィック最大**の海底ケーブルを所有

● テルストラ・ジャパン (東京)

テルストラ・ジャパン株式会社
2001年設立
国内ISP・キャリア・CATV様向けに国際サービス、トランジット、Telstra Ventures ソリューション提供

● TELSTRA HQ (メルボルン)

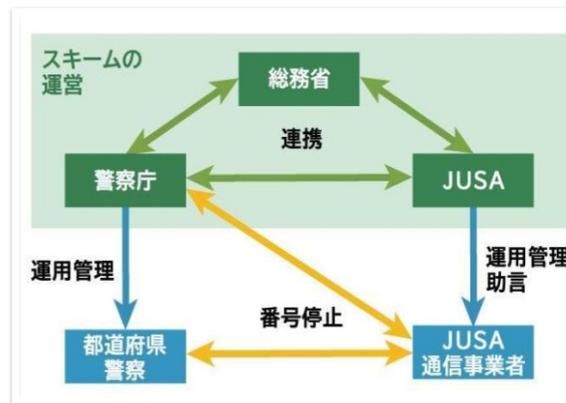
一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会 (JUSA)

当協会は会員である電気通信事業者と共に新しい通信サービスの健全な普及に取り組んでいます。市場の公正な競争を確保するための活動を進めると同時に、苦情・通報窓口の設置、事業者やサービスに関する相談窓口の設置や、更に警察や関係機関と連携して犯罪等に利用された電話番号を停止、更に能登半島沖地震の避難所向けクラウド電話の無料提供等など、健全なユニファイド通信市場を実現するために様々な活動を行っています。

総務省・警察庁・JUSAで番号停止スキームを運用開始



総務省・警察庁・TCA殿と連携 特殊詐欺に利用された番号を停止している



報道資料

総務省
MIC
令和4年11月29日

電気通信事業者による特殊詐欺に利用された固定電話番号等の利用停止等の対象事業者の拡大

総務省は、電気通信事業者による特殊詐欺[※]に利用された固定電話番号等の利用停止等について、一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会に通知しました。

※ 特殊詐欺(被害者に電話をかけるなどして被害を及ぼすことなく虚構させ、指定した銀行口座への振り込みその他の方法により、不特定多数の者から資金等をだまし取る犯罪をいう。以下同じ。)

1 現状

令和元年9月、警察から特殊詐欺に利用された固定電話番号の利用停止等の要請があった場合における電気通信事業者の対応について、一般社団法人電気通信事業者協会に通知し、令和3年11月には、電気通信事業者による特殊詐欺に利用された電話番号を利用停止等する枠組みの対象として、固定電話番号に加えて、特定IP電話番号(050番号)についても追加することとし、一般社団法人電気通信事業者協会に通知したところ。

<概要>

(1) 固定電話番号等の利用停止

ア 都道府県警察は、特殊詐欺に利用された固定電話番号等を認知後、電気通信事業者に対し、当該固定電話番号等の利用停止を要請する。

イ 当該電気通信事業者は、都道府県警察から要請があった固定電話番号等を利用停止の上、警察庁に対し、当該利用停止を行った固定電話番号等の契約者(即ち電気通信事業者を含む。)の情報を提供する。

(2) 新たな固定電話番号等の提供拒否

ア 警察庁(特設連絡先)に対し、ア 一時的に固定電話番号の提供を拒否する。

スポンサー紹介

BBIX株式会社

BBIXは、日本を中心にアジア、ヨーロッパ、北米でIXサービスを提供しています。また、専用ポータルから簡単にクラウドサービスやデータセンターへ接続できるOpen Connectivity eXchange (OCX)など、高セキュリティ、低遅延かつ拡張性のあるサービスなど、キャリアニュートラル、且つ多様なNWソリューションをグローバルに展開しています。

BBIX 展開事業 ご紹介

キャリアニュートラル且つ多様なNWソリューションをグローバルに展開



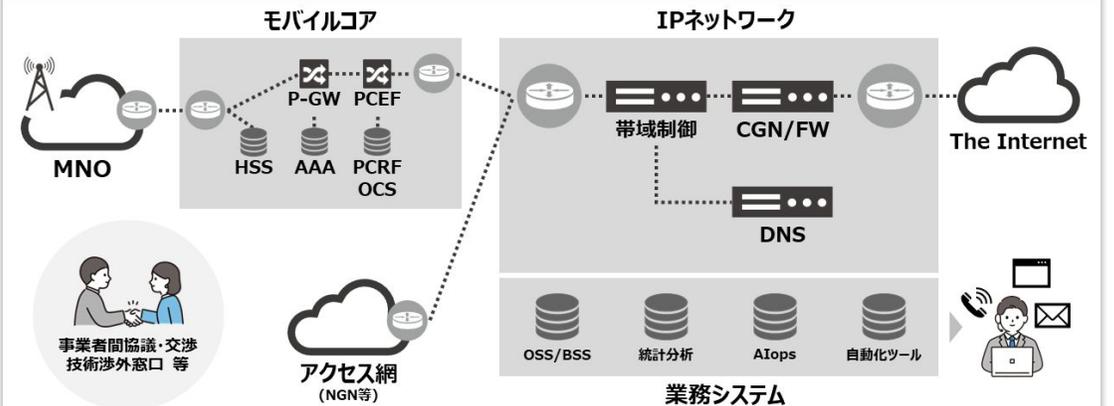
Copyright(C) BBIX, Inc. All rights reserved

8

レンジャーシステムズ株式会社

私たちは、あらゆる通信事業者の悩みを解決するネットワークインテグレーターです。物販を前提とした代理店ビジネスではなく、人月で商売する派遣ビジネスでもありません。設備の保守やちょっとした作業の請負から、サービスの立ち上げ・運営まで、様々な業務課題に対して皆様と同じ目線で日々、真剣に取り組んでいます。

モバイルと固定ブロードバンド



全方位でカバー

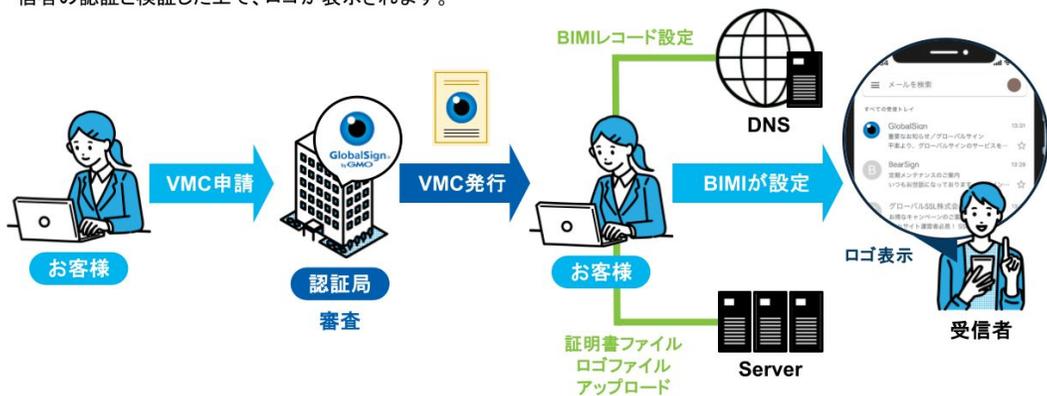
GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社

電子認証局や電子印鑑等のセキュリティサービス、ならびにクラウド・レンタルサーバーを中核とした各種インターネットソリューションの提供をしております。

VMCの仕組み



VMCは、申請組織の審査を経て、ドメインと登録商標ロゴに対して証明書が発行されます。証明書とロゴファイルをサーバにアップロードしてBIMILレコードを設定することで、電子メール認証プロトコルを通じて送信者の認証と検証した上で、ロゴが表示されます。



7

株式会社Jストリーム

創業1997年より動画配信を主軸に事業展開。国内ISP・IDCに配信用サーバを分散配置し、自社CDNを構築。Content/CDNトラフィックワーキンググループでは、多くのISPの方々とはISPに優しいコンテンツ配信について議論しています。また福岡でのIX接続、Open Cachingの活用やIPv6をはじめとした新しい技術を用いた各種実証実験にも積極的に取り組んでいます。

[Jストリーム、「第59回JAIPAの集いin鳥取」への協賛および登壇について](#)

株式会社ファミリーネット・ジャパン

マンション専門のISPとしてVNE事業をはじめ、様々なITソリューションを提供する企業です。お客様のビジネスニーズに合わせた多彩なIT、IOT、エネルギーソリューション等を提案し、お客様のビジネス成功に貢献いたします。ぜひ一度当社ショールームへお越しください。

スポンサーブース

- テルストラ・ジャパン株式会社
- 一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会（JUSA）
- BBIX株式会社



スポンサーブース

- レンジャーシステムズ株式会社
- 株式会社Jストリーム（ドリンクスポンサー）
- 株式会社ファミリーネット・ジャパン（ドリンクスポンサー）



会場	
会場名	ホテルニューオオタニ鳥取
住所	〒680-0822 鳥取市今町2丁目153
アクセス	JR山陰本線「鳥取」駅より、徒歩3分
HP	https://www.newotani-tottori.jp/



懇親会 5月30日（金）

会場	
会場名	海鮮問屋 村上水産 鮮魚部
住所	〒680-0834 鳥取県鳥取市永楽温泉町378
アクセス	JR山陰本線「鳥取」駅より、徒歩5分
HP	https://murakami-suisan.hp.gogo.jp/pc/





制作物① 案内板、スポンサーパネル、名札




一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会
English
Facebookページ +
会員限定サイト +

JAIPAについて
活動内容
当協会の意見
関連協議会・検討会
会員企業一覧
インフォメーション

[HOME](#) > [Topics](#) > [集い](#) > [第59回JAIPAの集いin鳥取のご案内](#)

Topics

第59回JAIPAの集いin鳥取のご案内

2025年4月03日（木）

集い

本「集い」は今回で59回目を迎えます。

インターネットに携わる事業者が一堂に会し、日頃の課題等を検討して参加される方々が次のステップに行けるような情報交換、共有をして活発な意見交換が出来る場を提供しております。また、開催地の活動を採場者にご紹介する場にもなっており、勉強する場にもなります。ぜひ、お越しただいて交流を深めていただければ幸いです。

※プログラムは随時更新して参ります。掲載されたものは変更される可能性がありますのであらかじめご了承ください。

開催日：	2025年5月29日（木）～30日（金）
場所：	とろびん文化会館 小ホール 〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5 TEL 0857-21-8700（代表） 喫煙所情報（携帯灰皿必要） https://tottori-caf.or.jp/photolib/torikenmin/22827.pdf
主催：	一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会
協力：	有限会社ワイル（ハルインターネット）
協賛：	GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 テルストラ・ジャパン株式会社 一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会（JUSA） BBIX株式会社 レンジャーシステムズ株式会社 株式会社Jストリーム 株式会社ファミリーネット・ジャパン
後援：	鳥取県 鳥取市 中国総合通信局 鳥取県サイバーセキュリティ対策ネットワーク 鳥取県インターネットプロバイダ防犯連絡会
参加資格：	どなたでも参加いただけます。

※ カテゴリーアーカイブ

- アクセス網WG：家庭用ルータSWG
- AIワーキンググループ
- Content/CDNトラフィックWG
- IGF-Japan
- Information
- イベント
 - 集い
 - Cloud Con（クラコン）
 - セミナー
 - 討論会
 - 説明会
 - 報告会
 - 勉強会
 - 沖縄ICTフォーラム
 - 賀詞交歓会
 - 10周年記念
 - 準備委員会
- 報道発表
- 総会・理事会
 - 理事会
 - 総会
 - 常任理事会
 - 運営委員会

◆ 協賛会社 ◆
スポンサー



テルストラ・ジャパン株式会社
テルストラはオーストラリアの伝統を誇り、長年にわたり国際的なビジネスを展開し、成長を続けている大手通信・テクノロジーのリーディングカンパニーです。アジア太平洋地域最大の完全所有有線ケーブルネットワークを構築し、アジア域内で最大の利用容量にアクセスできるユニークで多様なインフラを提供しています。



一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会（JUSA）
当協会は会員である電気通信事業者と共に新しい通信サービスの健全な普及に取り組み、市場の公正な競争を確保するための活動を進めると同時に、高層・通線高口の設置、事業者やサービスに関する相談窓口の設置や、更に警察や関係機関と連携して犯罪等に利用された電話番号を停止、更に能登半島沖地震の避難所向けクラウド電話の無料提供等、健全なユニファイド通信市場を実現するために様々な活動を行っています。



BBIX株式会社
BBIXは、日本を中心にアジア、ヨーロッパ、北米でIXサービスを提供しています。また、専用ポータルから簡単にクラウドサービスやデータセンターへ接続できるOpen Connectivity eXchange（OCX）など、高セキュリティ、低遅延かつ拡張性のあるサービスを展開しています。



レンジャーシステムズ株式会社
私たちは、あらゆる通信事業者の悩みを解決するネットワークインテグレーターです。物販を前提とした代理店ビジネスではなく、人月で販売する派遣ビジネスでもありません。設備の保守やちょっとした作業の請負から、サービスの立ち上げ・運営まで、様々な業務課題に対して皆様と同じ目線の日々、真剣に取り組んでいます。



電子認証局や電子印鑑等のセキュリティサービス、ならびにクラウド・レンタルサーバーを中核とした各種インターネットソリューションの提供をしております。



株式会社Jストリーム
創業1997年より動画配信を主軸に事業展開。国内ISP・IDCに配信用サーバーを分散配置し、自社CDNを構築。Content/CDNトラフィックワーキンググループでは、多くのISPの方々とISPに新しいコンテンツ配信について議論しています。また福岡でのIX接続、Open Cachingの活用やIPv6をはじめとした新しい技術を用いた各種実証実験にも積極的に取り組んでいます。



株式会社ファミリーネット・ジャパン
マンション専業のISPとしてVNE事業をはじめ、様々なITソリューションを提供する企業です。お客様のビジネスニーズに合わせた多彩なIT、IoT、エネルギーソリューション等を提案し、お客様のビジネス成功に貢献いたします。ぜひ一度当社ショールームへお越しください。

ドリンク

日本海ケーブルネットワーク

- チャンネル：NCN地域情報チャンネル111チャンネル
- 番組名：まちネタ
- 放送日：2025年5月29日（木）
- 放送エリア：鳥取市、倉吉市、岩美町、三朝町

■回収期間

5月29日～ 6月13日

■回答者

47名 (回答率：27.6%)

■設問内容

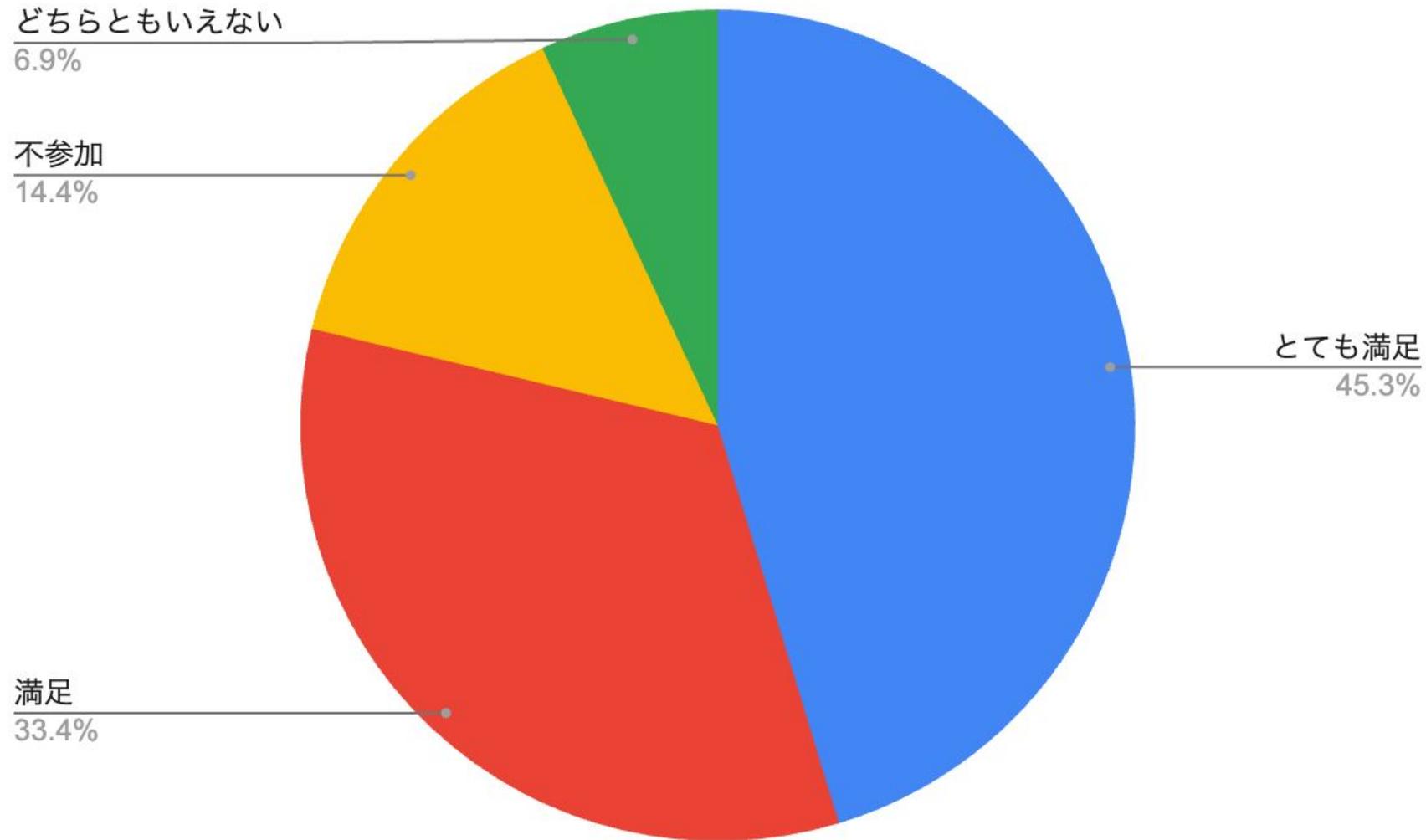
Q1. プログラム満足度

Q2. 属性 - 役職、所属先業種、年代、JAIPAの集い参加回数

Q3. 参加理由・目的

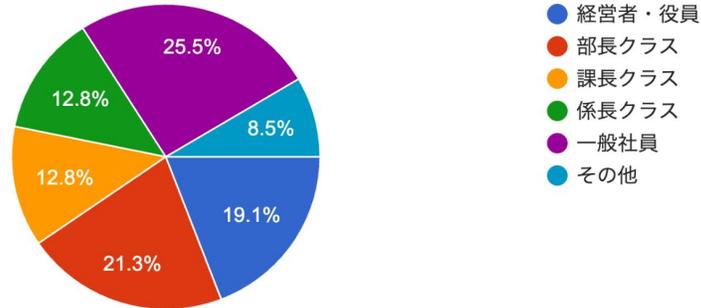
Q4. 今後、講演してほしいテーマ

Q5. JAIPAの集いに関してのご意見・ご感想



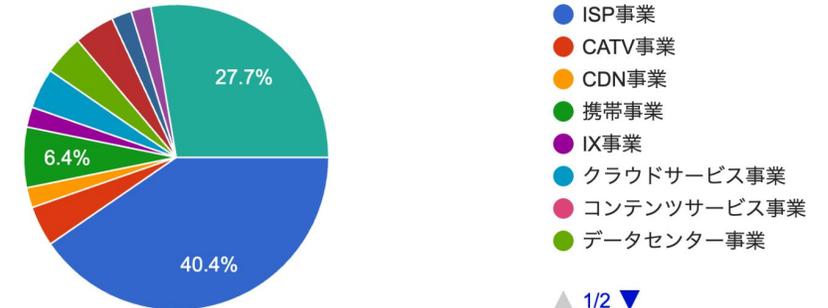
役職をお選びください。

47件の回答



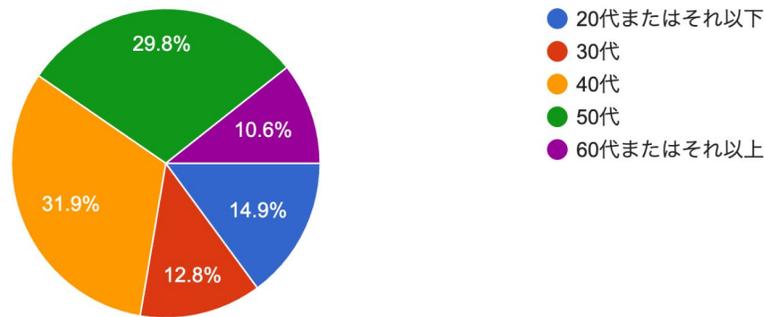
所属先の業種をお選びください。

47件の回答



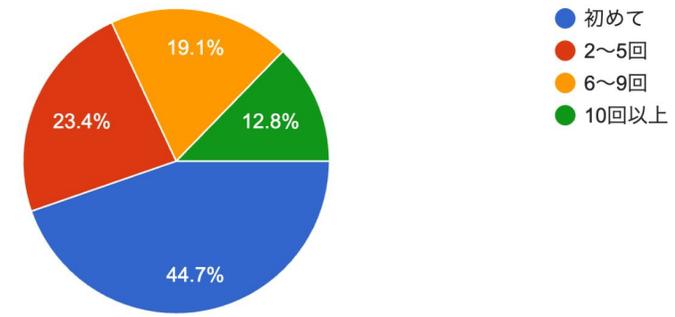
年代を教えてください。

47件の回答



JAIPAの集いに参加した回数を教えてください。

47件の回答



お誘いいただきました。
他業種との交流のため
講演の為
プログラムなら興味があったため
最新技術動向の把握および各事業者との関係性構築
人的交流
昨年より部会に参加し始めたため。
お誘いいただいたため。
業務関連や興味があり、他のSPの意見など色々お聞きしたかった為
講演するため。
情報収集のため
プログラムに興味があった
毎回楽しみにしているので
情報収集
今回後援させていただきました鳥取県サイバーセキュリティ対策ネットワーク事務局として参加させていただきました
交流及び勉強

登壇のため
交流
ご紹介いただき参加いたしました。
情報収集
勉強の懇親のため
業界のトレンド情報収集、人脈作り、認知度向上のため
情報交換・渾身のため
講師としての依頼
個人ではJAIPAを知らず、会社で上司が2日目に行くことが出来ないことがきっかけでJAIPAを知り参加した。
人脈作りと業界課題認識、共有
他社との交流のため
最新の動向の調査と自社での取り組みについて検討するため
楽しいから。
業界理解のため
業界の色んな方と出会えるから
会員の皆様とのコミュニケーションのため

AIへのjaipaの取り組みについて。
クロスインダストリーの新しいマーケット創出について
インターネットサービスの固定回線とWAの今後の展望など
次回ことはJAIPAの歩き方をやりたい
新たな取り組み、新規事業の実態
最新のネットワークトレンドについて、各社の取り組み
地域課題に関わる話
トラフィック爆発の件
ネットリテラシーや、誹謗中傷などに関する記事
ISP事業の今後
インターネットそのものの最新時事ネタ
海底ケーブル関連に関しての講演

アンケート結果 | JAIPAの集いに関してのご意見・ご感想

お疲れ様でした！やる度に楽しい会になります。ありがとうございます！
楽しい2日間でした。
いつも楽しく参加させてもらってます。運営の皆様ありがとうございます
運営側ですが、もう少し地元ネタがあってもいいなと思いました。
毎度のことですが、事務局お二方・プログラム委員の皆さん、広報R部会の皆さん、お疲れ様でした。おかげさまで大変充実した2日間でした。
1日目と2日目でそれぞれ特色が違い興味深かったです。自身に必要な技術的な知見のみを求めて行ったのですが、地域の取り組みや他分野での技術導入検討など、思わぬお話が伺えて大変発展性のある時間を過ごせました。
様々な話題があり、また一つ一つが深い内容で、大変満足しました。ありがとうございました。
プログラム委員の皆さんお疲れ様でした。
大変楽しく参加させていただきました。
地域とも連携したコンテンツで有用です
地域社会と通信との関わり方、放送や自動車といった他業界との在り方についての講演、議論模様がとても良かったです。
各セッション勉強になる内容ばかりで考えられることも多かったです。今回参加ができなかった当社メンバーにも共有し、議論をしてみたいと思いました。懇親会ではインターネットに関する課題だけではなく、地域のこと・働き方等さまざまな方と意見交換することができ大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
いつも有難うございます
参加メンバーだけの公開で良いので、発表スライドを共有して欲しい。
地域とIT業界の講演が充実しており、濃い内容でした。参加者の方との交流、若手を歓迎する雰囲気も大変良かったと感じました。ありがとうございました！
地方の抱える課題と取り組みに対する、インターネットや特IAIの活用のお話を興味深く伺いました。利用者目線でのお話から気づきを得ることが出来ました。ありがとうございました。

JAIPAの集いin鳥取 実行委員（五十音順）

- 井上 法雄 有限会社ウイル
- 菅 道政 イッツ・コミュニケーションズ株式会社
- 高見澤 信弘 株式会社Jストリーム
- 竹内 勝幸 株式会社シナプス
- 富永 良明 株式会社NTT-ME
- 中島 乃造 メディアウェイブシステムズ株式会社
- 中田 明治 株式会社ファミリーネット・ジャパン
- 松下 和弘 株式会社イプリオ

「第59回JAIPAの集い」が鳥取県鳥取市のとりぎん文化会館にて開催されました。
鳥取県での集い開催は初となり、2日間にわたり延べ170名の方々に参加いただきました。

講演では、人口減少や少子高齢化の課題を抱えながらも、積極的なデジタル化とAI活用により人手不足を補う鳥取県の試みや、世界で唯一「砂像彫刻」専門の展示をおこなう鳥取砂丘の「砂の美術館」の砂像の魅力など、開催地ならではの貴重なお話を伺うことができました。

また、地域ISPの需要と課題、生成AIの活用、今後のIT戦略に関する話題では、参加者同士の活発な議論が交わされました。

2日目には自動車に関する講演が続く場面があり、コネクティッドカーの継続利用のための課題やバスの自動運転の取り組みなど、自動車産業のインターネットに関する話を参加者の方々が興味深く耳を傾けていました。

そして、両日の夜に開催された懇親会では参加者同士がさらに親交を深め、また、新たな交流が生まれるなど、大変盛り上がりました。

このたびの「JAIPAの集い」が盛況のうちに終了したのは、準備をしてくださったプログラム委員の皆さま、鳥取県の関係団体の皆さま、登壇者の皆さま、そしてJAIPA事務局の皆さまのおかげです。心より感謝申し上げます。

広報PR部会 鈴木理那(アット東京)

